

ISBN978-4-904505-16-8
C8737 ¥1600E
定価：本体 1600 円（税別）



くまさんのおくりもの 第4話
かきのハチミツプリンのおくりもの

菓子工房 うちこし



くまさんのおくりもの ^{だい}第4^わ話

かきの
ハチミツプリンの
おくりもの



かしこうぼう
菓子工房 うちこし



くまさんのおくりもの だい わ 第4話

かきのハチミツプリンのおくりもの

か し こうぼう
菓子工房 うちこし

あき ふか まち にし つづ
秋も深まり、町から西へと続く

いち しょう なみ き みち
イチヨウ並木の道は、

いち しょう おち ぼ ふ か ふ か
イチヨウの落葉で、フカフカの

き いろ
黄色いじゅうたんのようです。

いち しょう なみ き にし い
そのイチヨウ並木をずっと西へ行くと、

ひと き わ こ みどり もり
ひときわ濃い緑の森があります。

もり おく かぜ あま かお
その森の奥から風にのって、甘い香りが

ながれてきました。

きょう け き や
今日も、ケーキ屋さんのくまさんが、

か し
おいしいお菓子を つくっている ようです。

はなし け き や
このお話は くまさんが ケーキ屋さんを ひらく、

すこ まえ はなし
もう少しだけ、前の お話です。

もうすぐ、寒い冬がやってきます。

森の動物たちはこれからおとずれる、長く寒い冬のために、冬じたくをはじめています。

そんないそがしい季節ですが、この森のくまさんは、あいかかわらずのんびりとくらししています。

ある日曜日の朝、くまさんは、ごきげんよくみんなと食べる「日曜日のおやつ時間」のお菓子をせっせと作っています。

「今日は、みつばちくんからもらったおいしいとれたてハチミツ入りのクッキーだよ〜♪」

クッキーも焼きあがって、ちょうどおやつ時間になりました。

「みんなもうあつまっているかな〜♪」

みんな早くあつまっちゃうから、

ほんとうにこまっちゃうんだよな〜♪」

くまさんは、今日はめずらしくつまみ食いもあまりせず、クッキーをたくさんかごに入れました。

くまさんは、はりきってドアをあけました。

すると、だれも・・・いませんでした。

「あれー みんな まだ きてないのかな～??

もうすぐ くるかな～ まってよー♪」

くまさんは、クッキーを ^く ^っ ^き を ^た 食べるのも がまんして、
しばらく まつ ことに しました。

ふと、^{かいだん} ^み 階段を ^{てがみ} 見ると、お手紙が おいてありました。
こびとさんからでした。

「くまさんへ、

きょうは しごとが いそがしくて、

おやつを たべにいけません。

らいしゅうは、かならず いきますね」

と、^か 書いて ありました。



おなかの すいた くまさんは、

ひとつ、またひとつ・・・

クッキーを ひとりで ^た 食べ はじめました。

でも、まっても まっても、みんなは きません。

もう ^く ^っ ^き が、はんぶんも なくなって
しまったときの ことです。